

大和ハウス工業株式会社

工学部チーム メンバー：羽田 新家 神谷 坪佐 桑田 松本 竹島 藤田

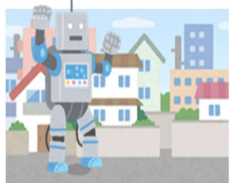
地域の活性化を実現し、街の未来の再興をもたらす 新たなイノベーションアイデア

アイデアのコンセプト

- ① 地域内外を問わずコミュニケーションの活性化
- ③ 移動難民のサポート
- ② 在宅で行政・医療・介護・保育などのサービスを受ける
- ④ 安全な環境構築

プラットフォームの提案

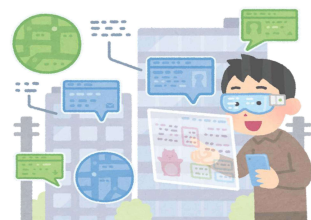
現実世界：移動ロボットが街を自動徘徊



- ・ 動画撮影等により仮想空間上で町を構築するための情報収集
- ・ 人や物資の運搬
- ・ 事故や犯罪に対応するパトロール

現実世界 × 仮想世界 ➡ 融合

仮想世界：現実情報を用いた仮想空間の構築



- ・ SNSサービスの提供によりコミュニケーションの活性化
- ・ 様々な現実情報を入手可能（空き家、不用品）
- ・ オンライン診察
- ・ 行政サービスのオンライン化

提案プラットフォームの提供サービス例

① コミュニケーション



② 防犯パトロール



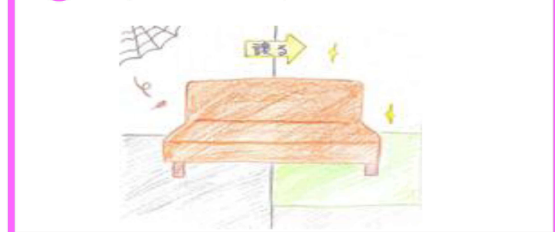
③ 空き家の情報検索



④ かかりつけ医との連携



⑤ フリーマーケット



つなぐ～子供たちと高齢者の触れ合いを大切にする～

つなぐ



～子供たちと高齢者の触れ合いを大切にする～

園児スケジュール

9:00～ 朝の会
10:00～ かけっこ・歌の会
10:30～ 午前の活動
12:00～ 給食・お昼寝
13:00～ 午後の活動
14:30～ 帰りの会
15:00～ 帰園
16:30～ 延長保育
18:00 完全閉園

高齢者スケジュール

10:00～ 受付可
12:00～ 給食・お昼寝
15:00～ 施設見学
17:00 完全閉園



2階



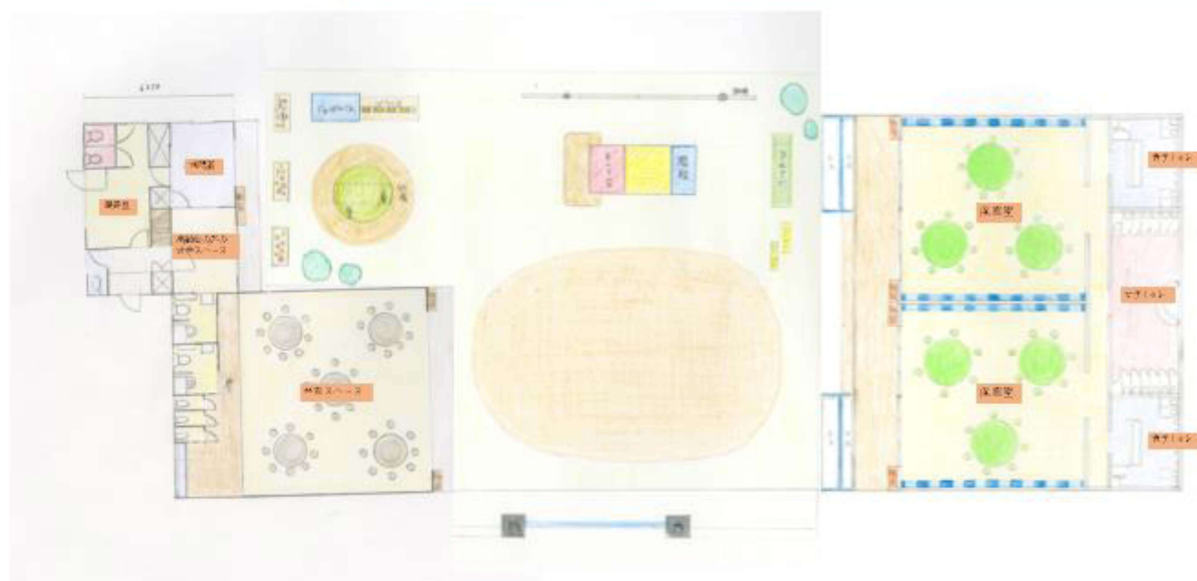
幼稚園に高齢者の方が園児たちとの触れ合いを求めに訪れ、交流を生み出す場を提案します。少子高齢化によって子供たちと高齢者の方々が交流する機会が減少しているため、それらを少しでも改善できないかと考えました。

交流の内容としては、食事・会話・お遊戯・季節の行事・誕生日会などです。

手先の器用な高齢者の方が園児に折り紙などを教えたり、園児への贈り物を作成しプレゼントするといった一般的な幼稚園や老人ホームでは行えない活動に取り組めます。

メリットとして、高齢者の方は園児から元気をもろることができ、生きがいを持つことができます。一方、園児はきいやりや気遣いを学ぶことができ、心の成長に繋がります。施設内で交流することができる共有スペースは、少し天井が高く、広々とした開放的な空間になっています。

また、グランドでは、外で遊ぶ子供たちを見守ったり、一緒に散歩したり、様々な世代の人が楽しめるイベントとして、定期的にマルシェを開くことも考えています。



地域資産である空き家・空き地の活用

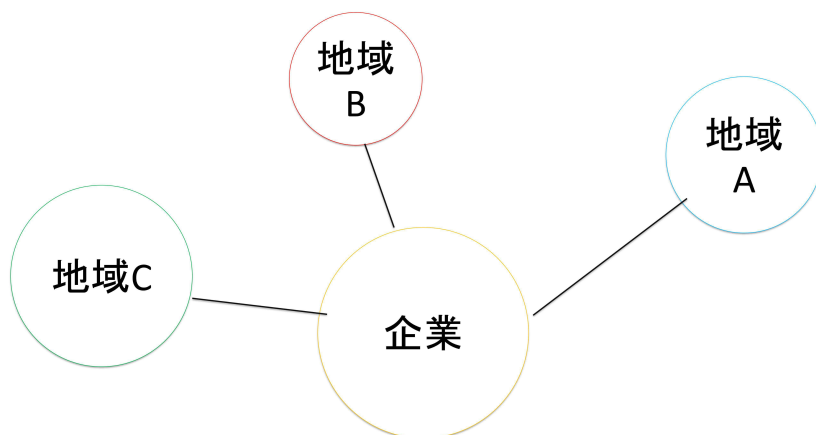
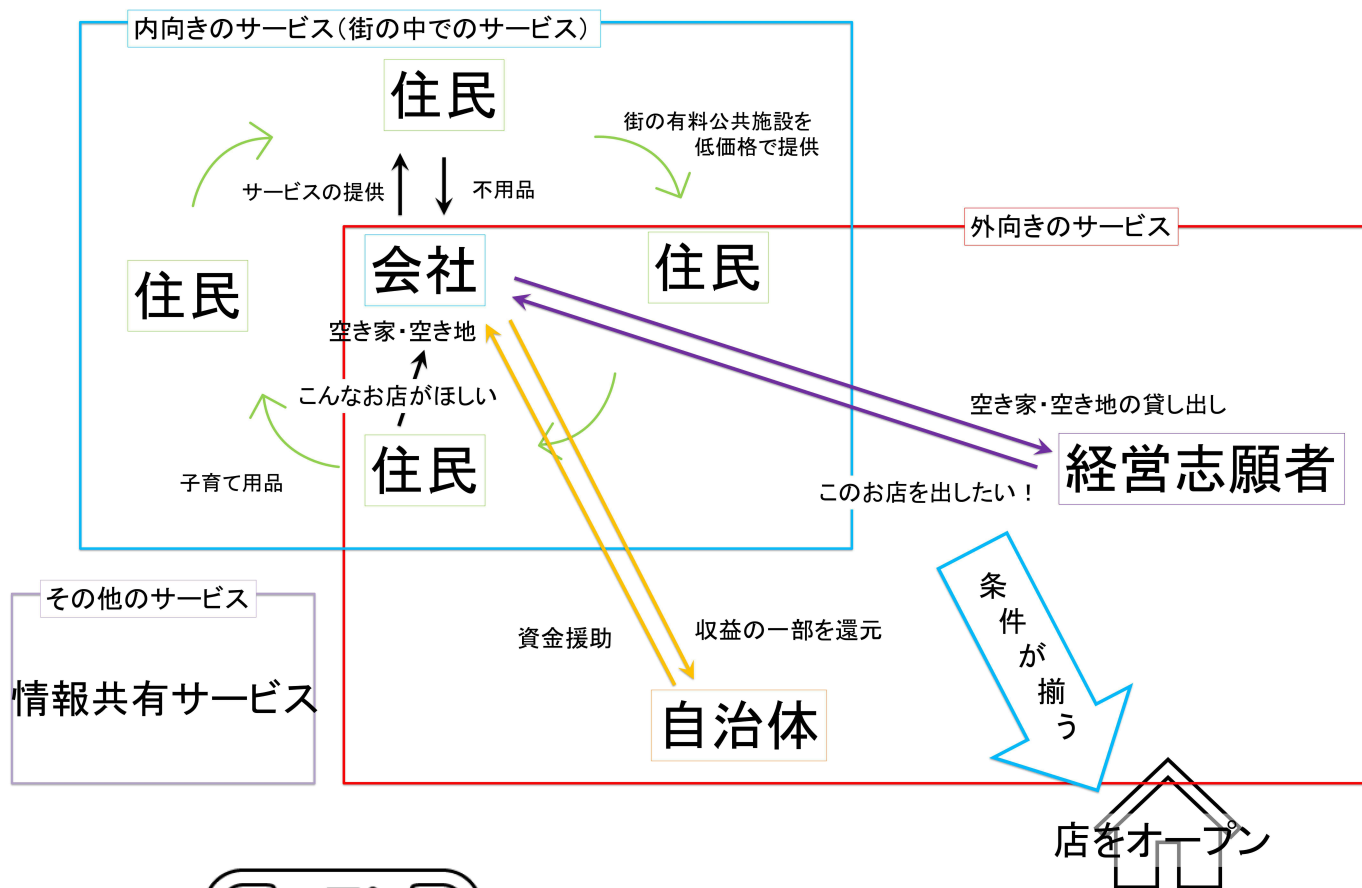
～街のリソースを未来への可能性に変える～

かつてニュータウンとして栄えた街が年月を経て過疎化や高齢化が進みニュータウンの約10%が空き家・空き地となった

それらをどのようにして活性化させ元の街を取り戻させるか...

Paro(シェアリングエコノミー)サービスの提案

空き家・空き地を活用してシェアリングサービスを行い、街の活性化を促す



複数の地域が連携できる巨大なネットワークを作成することによって地域を**活性化!!**